

平成25年度第2回 区政モニター会議 会議録（要旨）

平成25年7月25日（木）

（夜の部）午後6時30分～午後8時16分

区役所 8階第一会議室

- 1 広報課長あいさつ
- 2 環境土木部環境政策課長あいさつ
- 3 事業説明
- 4 事例検討（1）「環境情報センター」について
事例検討（2）「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の
施行に伴う「自転車の交通ルール・マナーの習得」について

1 「環境情報センター」について

本年6月2日に京橋スクエアガーデン6階にオープンしました「環境情報センター」について、皆様の期待されることやご意見をお聞かせください。

（既に行かれた方の意見）

意見 1階ではセンターの案内標示が見つからず、店舗も2階までで、途中階を越えて6階までわざわざ行く気にならなかった。それでも実際に行ってみると、まだ6階フロアは工事のところも多く、センターのモニターも故障していたりして、また説明も文章だらけと、あまりよい印象を持たなかった。唯一、「中央区の森」の情報提供が慰めとなった。

意見 ボランティア仲間と言われて、一度、同ビルまで行ったが、やはり6階まで行く気にならず、結局行かなかった。

意見 6月に2回行ったが、1回目は場所がわからず帰ってしまった。2回目に、ようやく見つけた。タッチパネルの機材や研修室を見ると、教育の場として利用できるかなという印象を持った。とにかくPR、案内不足である。

環境政策課長（以下、課長） センターは、同じ階の民間施設に先んじて開設したため、来館の際は、まだ工事中だったり、案内不足の面があったかもしれない。現在は改善されているが、今後も、さらに見やすい標示に努めたい。

（まだ行かれていない方の意見）

意見 子供の夏休みの自由研究などに使われたら、とても有意義。

意見 学校教育での利用を積極的に位置づけてもらいたい。そうすれば利用客も増えるだろう。

意見 海外や他地域の先進的な取り組みについても紹介してほしい。

意見 研修室等をうまく活用して、区内の環境活動の活性化につながればいい。

意見　　そもそも中央区が環境問題に取り組む姿勢がどうなっているのかがわからない。ホームページを見ても、このパンフレットを見ても、それは同じ。

意見　　センター開設の経緯がわからず、センターの性格づけがあいまい。(区主導で設置したのか、民間の環境団体の要望を受けて設置したのか)

意見　　パンフレットを読むと、環境問題について理解を深める場だとあるが、環境問題は今さら理解をする段階ではなく、一人一人が行動に移す段階だ。「環境問題について中央区は××をします」と宣言し、区民の方がそれを受けて行動できるような情報提供を期待する。

意見　　センターの存在意義に疑問。同じ箱物をつくるのなら、もっとニーズの高い保育園をつくってもらいたかった。情報提供や勉強会の場合なら、区役所のホールや学校の空き教室、あるいは既存の他施設の会議室を利用すれば足りる。

意見　　環境問題を学ぶという趣旨には賛成だが、では、このセンターを開設して、どれだけ区的环境がよくなるのかは疑問。

広報課長　　確かに何か施設ができると、それに賛成、反対と相反する意見が広報課にもたくさん寄せられる。すべての方に納得いただける施策を展開するのはなかなか難しいなと個人的にも思っている。区全体のバランスを見ながら、多くの方が協議をした結果、各施策がなされていることをご理解いただきたい。

意見　　センターで人が来るのを待つのではなく、人のいるところ、特に環境問題に関心のない人の集まる場や学校などに出張講座を積極的に行い、人を呼ぶ努力をしてもらいたい。

質問　　公設民営となっているが、運営管理にどれぐらいの民間が応募したのか。

広報課長　　5社の応募があった。

意見　　公設民営だからといって、運営を民間任せにするのではなく、区も責任を持って、その利用促進を考えてもらいたい。

意見　　「かざぐるま」との関係がよくわからない。

2 「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の施行に伴う「自転車の交通ルール・マナーの習得」について

掲題の東京都の条例の施行に伴いまして、自転車の交通ルール・マナーの習得、特に家庭における交通安全教育のあり方と、地域としての具体的取り組み方策について、皆様のご意見、アイデア等がございましたら、お聞かせください。今後の施策に生かしていきたいと思っております。

意見 自転車を含め、子供への交通安全教育が重要。当然、子供は自動車を運転したことがないのだから、自動車から自転車はどう見えるかなどを、よく子供に教えてもらいたい。

意見 自転車車体の点検整備の重要性を交通安全教育でもしっかりしていただきたい。ミラーをつけていなかったり、ブレーキの甘い自転車をよく見かける。

意見 学校教育では、特に自転車に乗っているときは携帯電話を用いないことを指導してほしい。これは小学校のときからしっかりしてやってかないと、中学生、高校生になるとやってしまう。

課長 学校での交通安全教育は毎年ローテーションを組み行っている。今後も教育委員会と連携をとり開催していきたい。

意見 親が子供の手本となるようなマナーを身につけられるような施策をすべき。

意見 ルール・マナーの意識向上には、警察や地域、家庭が地道に取り組んでいくしか方法がないと思う。そこで家庭向けに交通安全のルール・マナーの啓発のチラシを配布してはどうか。

意見 小さな子供がいる家庭においては、自転車の交通安全は確かに重要な問題だと思う。そのため、家庭で子供に教えるため、親に向けて教材を提供してもらいたい。そのような教材を役所や児童館等、公共施設に置いてはどうか。

意見 防災訓練などと同じく、年に何回かは地域で交通安全講習会を開くように区から自治会に働きかけてはどうか。

意見 地域のイベント（防災訓練、祭り等）に合わせて、交通安全教室を開催してきたい。その際には、一方通行の道が多いとか少ないとか、地域の実情に合わせた内容としてもらいたい。

質問 本条例は、長年、社会問題化している自転車の交通安全問題を受けて制定されたと思うが、具体的に何を検討したのか。

課長 条例は、先ほどの説明で述べたような都全体での問題を検討した結果であるが、区として注力してきた検討課題は、違法駐輪・放置自転車対策として駐輪場の整備が挙げられる。

意見 ルール・マナーを守らせるためには、自転車道や駐輪場など、やはり環境整備が必要。その点は区でしっかり対応いただきたい。

意見 違法駐輪は最近、ひどくなってきたような気がする。特にスーパーマーケット周辺はひどい。区からも事業者に対して、しっかり駐輪スペースを確保するように指導していただきたい。また整然と駐輪されるように、暫定的にでも監視員（指導員）を置いてはどうか。

意見 東京駅八重洲口の放置自転車問題が新聞でも報道されているが、あれは中央

区民の責めに帰するところが多いようだ。区として何か対応を考える必要がある。

課長 現在、東京都を中心に警察とともに千代田区、中央区で協議会を設け、対策を検討している。中央区の場合、現在、そして今後行われる大規模再開発の際には事業者が大型駐輪場の設置をお願いしていて、実際に設置される見込みである。それができるまでの間の暫定的対応として、幅の広い歩道に駐輪場所の整備を考えていきたい。

意見 住んでいるマンションで、マンション前に違法駐輪禁止の貼り紙を貼ろうとして警察に相談したら、それは区役所に相談してくれと言われた。しかし、区役所のどこが担当かが調べてもよくわからない。自転車の交通安全問題に関して、区役所側でもしっかり担当を決める、あるいは周知してもらいたい。

意見 自転車の交通ルール・マナーの向上を図るためには、自転車道や駐輪場の整備、学校教育、地域での講習会等々、担当する部署が多岐にわたり、区民から見ただけではなく、お役所内でも混乱しているのではないかと。これら関係する機関・部署が集まり、問題を検討する仕組みをつくってみてはどうか。

課長 確かに自転車の交通ルール・マナー向上のための取り組みには、ハード面、ソフト面で多岐にわたる検討課題があり、それらのバランスをとりながら対応していかないと施策全体が崩れてしまうという難しさがある。これまでも警察や教育委員会等、関係機関と必要に応じ連携してやってきたので、今後、さらに連携を深め、工夫しながら対応していきたい。

意見 条例ができて、しばらくは普及啓発期間を設けるべきだとは思いますが、最後は、やはり取り締まりの強化と罰金徴収しか、ルール・マナーの向上は期待できないのではないかと。自動車の事故件数減少の要因を見ても、結局はそれだった。特に自転車の飲酒運転は厳しく取り締まってほしい。

課長 例えば自転車の右側通行禁止が今年6月に道路交通法改正で決まり、12月から施行となった。このように罰則を伴う行為については取り締まりが厳くなるため、現在、警察のほうで周知徹底に努めていると聞く。

意見 危険な自転車（ノーブレーキ車等）を販売する業者がいると、どうしても買ってしまう人も出るから、それら業者の取り締まりを強化してもらいたい。

意見 ヘルメット着用の必要性は感じるが、ヘルメットを持ち歩くのが邪魔になるのも事実。どういう場面で着用すべきか迷っている。

意見 歩道を自転車用と歩行者用通路に分けているところもあるが、結局、両者が入り交じってしまい、あまり機能していない。